

特集

看護学において若手研究者をどう育てるか？

看護学において若手研究者をどう育てるか—これまでとこれから 吉沢豊予子

アジアにおける若手研究者育成の方略 牧本清子

日本学術会議をはじめとする学協会、大学院の立場から若手研究者の育成を考える

1)日本学術会議、日本看護科学学会の立場からの提言 小松浩子

2)日本看護研究学会の立場からの提言 中木高夫

3)千葉大学大学院看護学研究科研究科長の立場からの提言 宮崎美砂子

若手研究者育成の歴史を紐解く

—日本学術会議若手アカデミーの他領域を含む活動と看護界の展望 西村ユミ

【座談会】

若手研究者が考えていること—“看護学”から何を創造するか？

落合亮太、佐藤一樹、坂井志織、濱吉美穂、西村ユミ、吉沢豊予子

●連載

質的研究の前提と正当性・7 家高洋

Words, words, words. 研究と言語—質的研究のために・13 江藤裕之

編集後記

●今年も早いもので、最終号を迎えました。少し気が早いですが、1年間ありがとうございました。今年は、「認知症」をテーマに2度特集を組みました。近年、学会等々でも認知症はじめ、訪問・在宅領域のテーマを目にすることが大変多くなりました。やはり時代の波を感じます。社内に目を向けてみても、『訪問看護と介護』誌は順調に売り上げを伸ばし、『看護管理』誌ではフランス発の「ユマニチュード」を特集に取り上げて在庫僅少！でうれしい悲鳴を上げています。看護はまず「人」をみる。認知症はまさにその人の人間としての存在に深くかかわってくるだけに、医療の世界はもちろん、さまざまな領域でますます大きなテーマになるのだと思います。映画でも今年、スタジオジブリが「しわ」というスペインのアニメを配給して話題を呼びましたし、またフランスの「愛、アムール」は、認知症にかかる妻と夫との老いの道行きを描いてとても印象的でした。『看護研究』は引き続き来年も、時代に即したテーマを取り上げていきたいと思っています。よろしく願いいたします。(小長谷)

看護研究 第46巻 第7号(通巻249号) 2013年12月15日発行(増刊号を含め年7回発行)

発行：株式会社医学書院 代表者 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2013, Printed in Japan

販売部(03)3817-5659 社内案内(03)3817-5600 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

『看護研究』編集室：(03)3817-5775 電子メールアドレス kanken@igaku-shoin.co.jp 担当／小長谷・早田

1部定価1,890円(本体1,800円+税5%)

2013年年間購読料(税込、送料弊社負担、増刊号を含む年7冊)：冊子版12,600円 冊子+電子版/個人

15,600円 冊子+電子版/共有17,500円 電子版/個人12,600円 電子版/共有14,600円

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

【JCOPY】(社)出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、e-mail info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

●編集顧問(五十音順)

小島操子

聖隷クリストファー大学・教授(学長)

中島紀恵子

新潟県立看護大学・名誉教授

中西睦子

国際医療福祉大学・教授(看護学科長)

前原澄子

京都橘大学看護教育研修センター・所長

南 裕子

高知県立大学・学長

●編集協力者

阿曾洋子／荒川靖子

井部俊子／蝦名美智子

太田喜久子／岡谷恵子

片田範子／金井Pak 雅子

上泉和子／川口孝泰

河口てる子／川村佐和子

黒田裕子／高橋泰子

近田敬子／筒井真優美

水流聡子／野嶋佐由美

早川和生／舟島なをみ

村嶋幸代／森 恵美

安酸史子／山本あい子

横尾京子